

◇ 行財政改革プランの平成 25 年度実施計画取組結果について

亀岡市行財政改革プランは、より実効(行)性の高い行財政改革に取り組むため、基本計画と実施計画で構成しています。

基本計画では、「Ⅰ 行財政改革の必要性」や「Ⅱ 行財政改革の基本方針」とともに、「Ⅲ 行財政改革の具体的取組(行財政改革推進計画)」として、推進のための「3つの柱」と「6つの推進項目」について方向性や考え方などを明記しています。

一方、実施計画では、改革の実行性を高めるために、「6つの推進項目」ごとに掲げるそれぞれの取組事項とともに、その取組内容として具体的取組や数値目標、実施工程などを明らかにしています。

平成 25 年度実施計画の年間取組結果は、行財政改革プランの計画期間 5 ヶ年のうち、それぞれの取組事項における平成 25 年度に取り組んだ具体的な内容を表示しています。

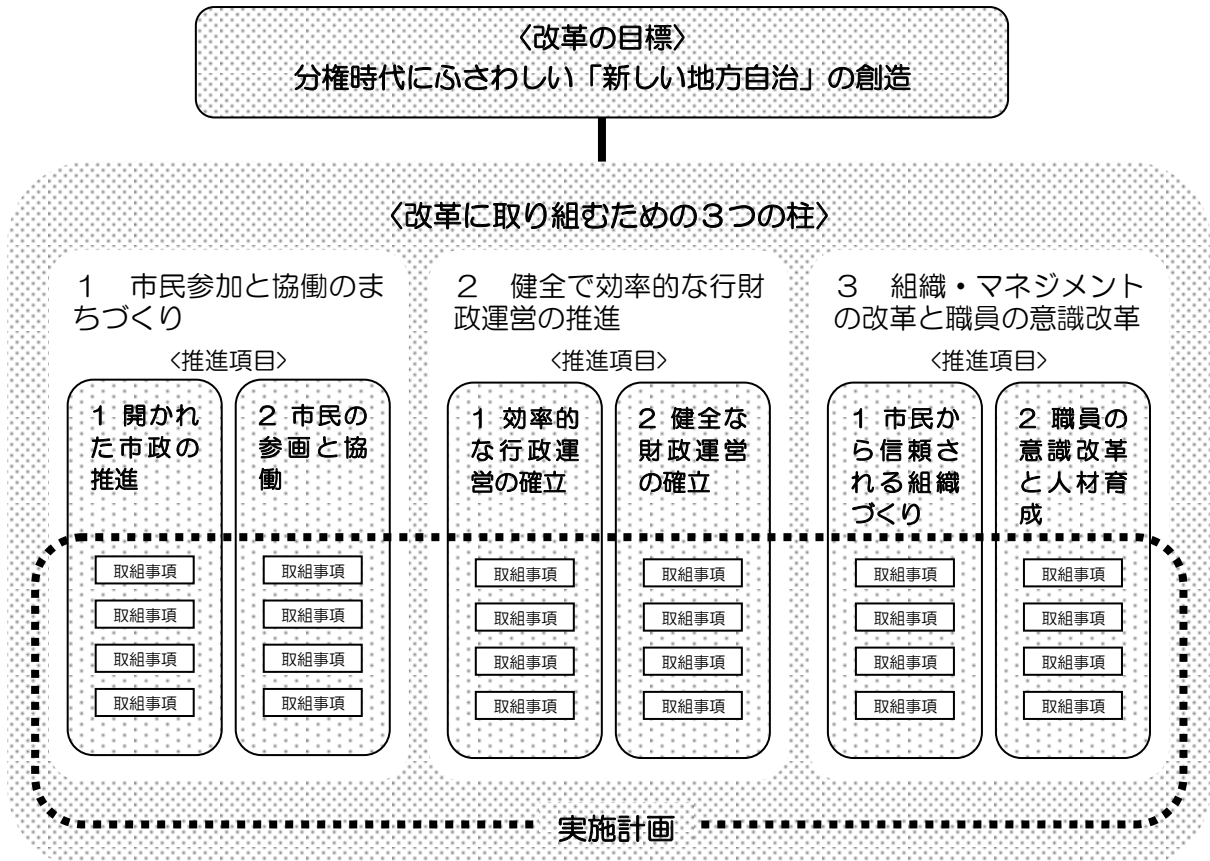
P2 には年間取組結果概要を、P3 には各取組事項を示したシートにおける見方を掲載し、P4 から P6 には取組事項を体系別に総括して一覧表であらわしています。

P7 から P85 には取り組み内容を個別に表示しています。

◇ 平成 25 年度実施計画取組結果の期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

◇ 亀岡市行財政改革プラン 2010-2014 の目指すもの



◇ 平成 25 年度実施計画 年間取組結果概要

実施計画では、行財政改革を着実に進めるため、それぞれの取組事項ごとにできるだけ具体的な数値目標を掲げて取り組んでおり、平成 25 年度は 63 の取組事項を推進しました。

各取組事項については、P7 から P85 にて、具体的な取り組みの計画と実際に取り組んだ内容及び進捗状況を掲載しています。全体的な取組結果の概要としては以下のとおりです。

まず、改革の一つ目の柱である「市民参加と協働によるまちづくり」では、審議会等における市民公募の拡大が目標に達しなかったものの、市民の皆さんが中心となって活動を展開していただくための市民活動団体支援制度の創設において、制度設計の完了とあわせて、平成 22 年度から平成 25 年度の 4 年間で目標以上の交付件数となりました。

改革の二つ目の柱である「健全で効率的な行財政運営の推進」では、国民健康保険料や保育所保育料など、収納目標を掲げた各料金等の収納率の向上に係る取り組みなど 10 項目が目標に達しませんでした。これは、社会情勢の変化や構造上の問題、昨今の経済状況の不況が原因と考えています。「亀岡市農業公社の組織運営体制の検証」においては、市民から信頼される効率的な組織運営及び多様化するニーズに対応するため、財団法人から公益財団法人へ見直しを行いました。また、普通財産の処分による収入確保が進み、ふるさと寄附金や独創性のある事業の情報提供による収入が拡大しました。

改革の三つ目の柱である「組織・マネジメント改革と職員の意識改革」では、時間外勤務の縮減など 2 項目が目標に達しませんでした。これは、9 月 16 日に発生した台風 18 号による大規模な災害対応などの突発事項、権限移譲による業務量の増加など、通年になかった業務があったことが原因となっています。能力開発においては、研修機会の提供を図り、職員の資質向上、さらなる市民サービスの向上を目指すために取り組みました。

これらの結果、平成 25 年度末での進捗状況は、79.4%の取組事項が計画と同率またはそれ以上となりました。しかし、20.6%の取組事項が計画進捗率未達となり、引き続き推進していく必要があります。

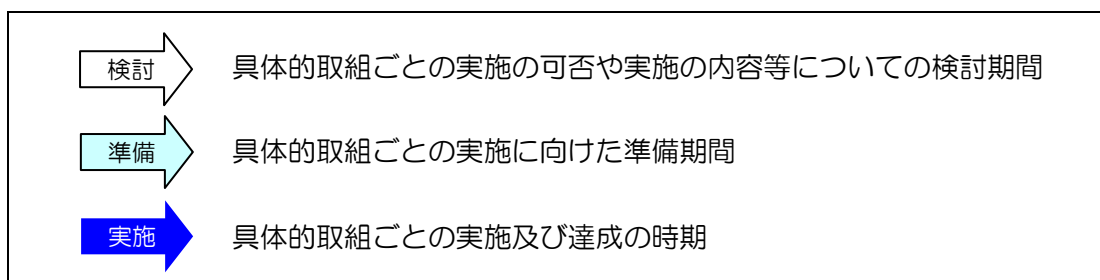
平成 25 年度は、亀岡市行財政改革プラン 2010-2014 の最終年となることから、本市のまちづくりの指針である第 4 次総合計画に掲げる都市像を目指し、自主性・自立性を高めた行政運営を進め、更なる行財政改革を引き続き推進していきます。

◇ 平成 25 年度末 進捗状況集計表

大分類 (3つの柱)	中分類 (6つの推進項目)	計画進捗率未達 となっている 取組事項数	計画進捗率どおり 進んでいる 取組事項数	計画進捗率より も進んでいる 取組事項数	合計 取組事項数
1	1	1	3	0	4
	2	0	2	1	3
2	1	0	11	1	12
	2	10	14	4	28
3	1	2	7	0	9
	2	0	6	1	7
合計取組事項数		13	43	7	63
割合 (%)		20.6	68.3	11.1	100

◇ シートにおける各項目の見方

「No.」	取組を進行管理するための管理番号のこと
「体系コード」	本プランの体系である 3 つの柱(大分類)と 6 つの推進項目(中分類)、取組項目(小分類)を表すコードのこと
「担当セクション」	取組を実施するセクション(部・課など)の名称
「取組事項」	取組事項の名称
「問題点等」	改革が必要となっている社会的背景や原因など
「取組内容」	取組事項を達成(実現)するために実際に行うことの内容
「効果」	取組事項を達成(実現)できたときに得られる効果のこと
「効果額の求め方」	効果を金額で表す場合の積算方法
「具体的取組」	改革を実現(達成)するための具体的取組のこと
「目標値等」	具体的取組ごとの到達点とする数値目標のこと
「実施工程」	具体的取組ごとの実施工程 ※以下のように記号(矢印)で表記



「実施状況」	各年度の四半期ごとの行うこと(計画)と行ったこと(実績)
「進捗」	計画期間(H22~26)内における四半期ごと進捗状況
「責任者」	各年度における取組の実施責任者
「進捗状況の求め方」	取組の進捗状況を表すときの考え方など

※進捗状況(実績)算出時に小数点以下が発生した場合は
小数点以下を四捨五入して実績欄に表示する

※ シートにおける平成 26 年度以降の計画については平成 25 年度計画策定当初のもの(年度途中の計画変更含む)が表記されています。取組実績により計画が変更となったものもあるため、平成 26 年度以降の計画内容は平成 26 年 4 月発行の「平成 26 年度実施計画」の冊子をご覧ください。